

平成25年度 第1回 外国籍市民施策懇話会議事要旨

日時 平成25年6月20日（金）18：30～20：30
場所 市役所 東館2階 会議室8
出席者 委員...阿曾、石原、小原、可児、二井、野間、藤井
事務局...石川部長、糸課長補佐、馬場係長
傍聴者 1名

1 あいさつ

市民生活部長よりあいさつ。

2 委嘱状交付

- ・代表として50音順1番の「阿曾 ロエナ」委員に市民部長より交付。
- ・その他の委員については席に配布にて省略。
- ・交付後、懇話会委員・事務局の自己紹介

3 議題

(1) 会長及び副会長の選出

- ・会長は豊明市外国籍市民施策懇話会設置要綱第5条第2項の規定より委員の互選。可児委員より二井委員が推薦され、他委員より異議なく二井委員を会長とする。
- ・副会長は同条第3項の規定により会長が指名。可児委員を副会長とする。
(以後、会長が議事を進める)

(2) 豊明市多文化共生推進計画について

- ・事務局より豊明市多文化共生推進計画の概要説明
計画期間：2007年（平成19年）から2016年（平成28年）まで

(3) 懇話会での意見についての対応状況について

- ◎平成24年度懇話会での意見に対して、市民協働課でどのように対応したかを説明
- ・対応状況については、意見に対して取組みが完了したもの、現在も取組み中のもの、着手できなかったものに分類し、ひとつひとつの意見ごとに説明をした。
- ◎委員からの意見
- ・市内全域での話しだと思いが、自分の住んでいる地域を中心に考えてしまう。
- ・市内の各地域によってゴミの出し方がちがうのは豊明市の特徴である。

(4) 平成24年度多文化共生推進計画事業報告

- ◎平成24年度に新たに始めた事業を説明した。
- ・やさしい日本語版のお知らせ作成
- ・通訳意見交換会の開催
- ・継続事業ではあるが、シェパトン市から中・高生交流事業で2校の受け入れをし、ホームステイを通して、多くの生徒たちがお互いの国の習慣に触れ、相互理解を深めた。

- ・市内で行う交流事業では、豊明市国際交流協会が主となり実施している。

(5) 平成25年度多文化共生推進計画事業計画

◎平成25年度に新たに始める事業を説明した

- ・プレクラス、プレスクール事業については、各委員から活発な意見がでた。

不就学の子どもたちのことを教育委員会は把握しているか。

学校に在籍していない子の把握はしているか。

このような事業のことを知らない人が多いのではないか。

待機人数を把握することによって予算要求に反映させることができるので、満員の状態でもPRは必要である。

各種の情報を得ることが簡単ではない、聞かないとわからないことが多い。

情報発信してほしい。

- ・生涯学習課が担当している「子ども日本語教室」が事業一覧からもれている。

- ・他部署と情報共有するために、懇話会に参加してもらってはどうか。

(テーマが限定されていれば参加可能)

(6) やさしい日本語 (そだいごみ)

- ・捨て方のルールを説明する。

- ・イラスト全体を統一する。

- ・大切な情報が最初に目に入るようにする。

- ・販売店の人にシールといっしょに渡してもらおうと利用者の手元に届くのではないか。

- ・委員に意見を求めるものについては、事前に資料を送付して意見をまとめられるようにする。